

平成29年1月31日
東北地方整備局

～東日本大震災から6年～

「風化させない・忘れない」シンポジウムを開催します

東日本大震災から6年、これまで被災各地の復旧・復興は着実に進展しています。一方、大震災の記憶は急速に風化しつつあることから、大震災の経験と教訓を風化させず、忘れることなく、今後全国各地で想定される災害にどう活かしていくかを考えるシンポジウムを平成29年2月18日（土）に開催します。

- 日 時 : 平成29年2月18日（土） 12:15～15:00
- 会 場 : 日本消防会館（ニッショーホール） 東京都港区虎ノ門2-9-16
- 主 催 : 「風化させない・忘れない」シンポジウム実行委員会
国土交通省（東北地方整備局、東北運輸局、気象庁仙台管区气象台、海上保安庁第二管区海上保安本部、国土地理院東北地方測量部）、（公社）土木学会東北支部、（一社）日本建設業連合会東北支部、東北建設業協会連合会、（一社）建設コンサルタツ協会東北支部、（一社）東北測量設計協会、（一社）東北地域づくり協会
- 内 容 : 資料1のとおり
- 参 加 費 : 無料
- 定 員 : 700名（申し込み先着順、どなたでも参加できます）
- 聴 講 申 込 : Web上の申し込みフォーム（資料1参照）より、
平成29年2月15日（水）までにお申し込みください。
なお、定員に余裕があれば当日参加も可能ですが、なるべく事前申し込みをお願いいたします。
- そ の 他 : 取材をご希望される場合、平成29年2月17日（金）17時までに添付「取材登録書」を東北地方整備局あてFAX送信願います。

【発表記者クラブ】

国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、
福島県政記者クラブ

問い合わせ先

「風化させない・忘れない」シンポジウム実行委員会事務局
国土交通省 東北地方整備局 TEL:022-225-2171（代表）
企画部 企画課長 橋本 裕樹（内線 3151）
企画課長補佐 菅 太（内線 3153）

「風化させない・ 忘れぬい」 シンポジウム

東日本大震災から6年、これまで被災各地の復旧・復興は着実に進展しています。一方、大震災の記憶は急速に風化しつつあることから、大震災の経験と教訓を風化させず、忘れることなく、今後全国各地で想定される災害にどう活かしていくかを考えます。

東日本大震災から6年



■プログラム(予定)

※プログラムの内容は変更になる場合があります。

11:45 開場

■開会・基調講演

- 12:15 主催者挨拶
- 12:20 現場からの報告 **川瀧 弘之** 国土交通省 東北地方整備局長
- 12:30 基調講演
(40分)
「東日本大震災での教訓を繋ぐ -忘却とのたたかい-」
今村 文彦 東北大学 災害科学国際研究所 所長

13:10 休憩
(10分)

■パネルディスカッション

- 13:20 パネルディスカッション
(100分)
「東日本大震災を教訓とした防災・減災」
- コーディネーター—
涌井 史郎 東京都市大学 特別教授
- パネリスト(五十音順)—
- 尾崎 正直** 高知県知事
- 片田 敏孝** 群馬大学広域首都圏防災研究センター長
- 戸羽 太** 陸前高田市市長
- 春香クリスティーン** タレント
- 村井 嘉浩** 宮城県知事
- アドバイザー—
森 昌文 国土交通省技監

15:00 閉会

(敬称略)

平成29年2月18日(土)
12:15~15:00

日本消防会館
(ニッショーホール)
東京都港区虎ノ門2-9-16

入場無料

定員:約700名 ※先着順となります。

同時開催 東日本大震災パネル展(2階ロビー)

■お申込はこちら

東北地方整備局の
ホームページからも
申込が可能です。



URL <http://www.thr.mlit.go.jp/>

東北地方整備局

検索

主催

「風化させない・忘れぬい」シンポジウム実行委員会

国土交通省(東北地方整備局、東北運輸局、気象庁仙台管区気象台、海上保安庁第二管区海上保安本部
国土地理院東北地方測量部)、(公社)土木学会東北支部、(一社)日本建設業連合会東北支部、東北建設業協会連合会
(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)東北地域づくり協会

お問い合わせ

国土交通省

東北地方整備局 企画課

Tel 022-225-2171(代表)

■ 基調講演



東北大学 災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

1961年生まれ、山梨県出身。東北大学大学院博士後期課程修了。同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、教授を経て、現在同災害科学国際研究所教授(所長)。主な専門分野は津波工学(津波防災・減災技術開発)、自然災害科学。東日本大震災復興構想会議検討部会、中央防災会議東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会などのメンバー。2016年防災功労者内閣総理大臣表彰

■ パネルディスカッション

・コーディネーター



東京都市大学 特別教授 涌井 史郎

1945年生まれ、鎌倉市出身。多摩田園都市、ハウステンポスのランドスケープ計画・デザインに参与。都市と自然の関わりにおけるランドスケープデザインを数多く手がけ、日本造園学会賞、国土交通省大臣賞等を受賞。「愛・地球博」では会場演出総合プロデューサー。TBS「サンデーモーニング」等で、コメンテーターとしても活躍中。石巻市南浜地区復興祈念公園有識者委員会委員長。

・パネリスト (五十音順)



高知県知事 尾崎 正直

1967年生まれ、高知市出身。東京大学経済学部卒業後、大蔵省入省。国税局行田税務署長、外務省在インドネシア大使館、財務省主計局主査、理財局計画官補佐、内閣官房副長官秘書官を経て、2007年財務省退職。2007年12月高知県知事に当選し、現在就任3期目。ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会委員。



群馬大学広域首都圏防災研究センター長 片田 敏孝

1960年生まれ。豊橋技術科学大学大学院博士課程修了、専門は災害社会学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。2012年防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞。東日本大震災復興都市デザイン検討会委員。



陸前高田市市長 戸羽 太

1965年生まれ、神奈川県足柄上郡松田町出身。会社員を経て1995年から陸前高田市議を務め、助役、副市長を経て、2011年2月市長に就任。就任直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めている。「世界に誇れる美しいまちの創造」を一番のコンセプトに陸前高田独自の「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」を目指している。高田松原津波復興祈念公園有識者委員会委員。

～東日本大震災から6年～ 「風化させない・ 忘れない」 シンポジウム



タレント 春香クリスティーン

1992年生まれ、スイス連邦チューリッヒ市出身。父は日本人、母はスイス人。高校2年生の頃、単身来日。日本語、独語、英語、仏語が話せ、趣味は国会見学、国会議員の追っかけ。政治に興味を持つタレントとして現在多くのテレビ番組で活躍。著書に「永田町大好き!春香クリスティーンのおもしろい政治ジャパン」



宮城県知事 村井 嘉浩

1960年生まれ、大阪府出身。防衛学校卒業後、陸上自衛隊に任官。ヘリコプターパイロットとして東北方面航空隊に配属。1992年自衛官を退職し、松下政経塾に入塾。1995年宮城県議会議員、2005年宮城県知事選挙に当選し、現在就任3期目。東日本大震災復興構想会議委員。

・アドバイザー



国土交通省技監 森 昌文

1959年生まれ、奈良県出身。東京大学工学部土木工学科卒業後、建設省入省。アメリカ合衆国連邦運輸省道路庁、建設省土木研究所ITS研究室長、国土交通省九州地方整備局福岡国道工事事務所長、道路局高速道路課長、道路局企画課長、大臣官房技術審議官、近畿地方整備局長、道路局長を経て、2016年6月より現職。

～東日本大震災から6年～「風化させない・忘れない」シンポジウム
取材登録書

平成29年2月18日(土)のシンポジウムにつきまして、
取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限:平成29年2月17日(金)17:00まで

1. 報道機関名(会社名及び部署名)

2. 氏名等

ご氏名 (複数で出席される場合は代表者のみで結構です)	連絡先 (当日連絡可能な携帯番号等)	人数 (代表者を含む)

3. 送付先

FAX:022-221-9889

(国土交通省 東北地方整備局 総務部 総務課 広報室あて)